

「なぜ、19歳の私が松原に塾を作ったのか。」

生野高校に通っていた高校2年生の私は、友達に誘われて無料体験を受けた塾に入塾することにした。多くの友達に通っていたし、映像授業ならいつでも高クオリティの授業を自分のペースで進められる点に魅力を感じたからだ。

しかし、実態は想像とは違っていた。

「高校生の私は、塾選びに失敗したのだ。」

映像授業で生じた疑問は、その映像に映る著名な先生に直接聞くことはできず、塾にいる質問対応の先生も予約がいっぱいで、いつでも気軽に質問できる環境は整っていなかった。塾長に相談しても、返ってくるのは「添削してもらえらる講座があるから追加で取りなさい。」の一言。

勧められたのは10万円以上もする高額な講座だった。

親に負担をかけたくなかった私は、自分の力でどうにかしようと決心した。

これが間違いだった。

大学受験に必要な知識は、高校生が自力で調べてどうにかできる情報量ではない。

そこに時間を費やしている間に、親身に相談に乗ってくれる塾に通う友人たちは、どんどん先へ進んでいた。

それでも、自分でやるしかなかった。

授業料はすでに一括払いしてしまっていて、途中で辞めることができなかったからだ。

「大手予備校だから安心」というのは、間違いだった。

大手の塾であっても、フランチャイズの場合、運営する会社によって塾の質はまったく異なる。

高校生の私は、これを理解していなかった。

大学生になった私は、「高校生に同じ思いをしてほしくない」と強く思い、大手予備校で修行を積み、2019年に河内松原駅前に大学受験予備校を開塾した。

「わかりやすい授業」はもちろんのこと、「生徒のために進路や学習計画を考え抜くこと」と

「わからない時に無料ですぐに相談できる環境を提供すること」を大切にした。

その結果、開塾からの6年間で、京大・阪大・東北大・神戸大・大阪公立大・早慶・鹿児島大(獣医)・関医(医)・関関同立など、多くの合格者を輩出した。

大手予備校がひしめくこの松原には、子どもの未来を本気で考える大人が必要だ。

だから、私は松原に塾を作ったのだ。

Amon(エーモン)学院 塾長 阪倉壮真

【過去の合格実績】

京都大学(経、理、医、農)/大阪大学(歯、経、工)/一橋大学(商)/東北大学(医)/神戸大学(工、医、国、経)/大阪公立大学(工、理、現)/鹿児島大学(獣)/慶應義塾大学(商、経)/明治大学(商)/関西医科大学(医)/関西大学(複数名)/関西学院大学(複数名)/同志社大学(複数名)/立命館大学(複数名)/近畿大学(複数名)※他塾での指導経験も含みます。

